

町民の声

「松前町に歴史・芸術の拠点を」

Y・S

観光旅行や視察で方々訪問しても必ず覗くのは、美術館や博物館、歴史資料館である。それは、その地域を知る最も近道であり、住民の地域に対する愛情と誇りが感じられ、また、文化意識のバロメータでもある。

展示場所がある。しかし、松前町には県外から訪れた人を案内する、そのようなところがない。そして旧家や古民家が建て替えられた際、古文書や古地図、骨董品が無残に燃去されたり町外に流失している状況を目にすると「教育の町」を宣言している松前町の住民としては、恥ずかしく残念な思いがする。先日もある農家の納屋の解体に遭遇した庫中には手こぎの脱穀機、牛引きの鋤に始まって数々の古い農機具があり、きちんと整理されており、農耕博物館でもあれば農業の歴史を知る大切な資料となると残念に思ったが、全て廃棄物処理業者によって廃棄されていた。松前城を有し、義農作兵衛を輩出した歴史的にも格調高い地域であり、また重信川の源流に残されている古墳からその歴史的な価値のあるこの松前町に、歴史資料館や博物館がなく、また多くの芸術家を輩出しているにもかかわらず、美術館がない、誠に残念に思う。一刻も早くこの様な大

切な宝を保管、解明し松前町の真の歴史的背景や芸術を未来に伝えて欲しいと、切に要望する。



義農作兵衛像



傍聴席

町議会を傍聴して

Y・G

議会議室は、薄い藤色のじゅうたんが敷き詰められ、明るい色調の机が設置され議長席にはきれいな生花が飾られています。

このような恵まれた環境で議会を開催できることは、とても幸せなことだと思いました。町長さんをはじめ役場の方々・議員の方々も、とても真摯に取り組んでいらっしゃいました。休憩時間には、傍聴人のお一人が町長さんに、「手話通訳があればよかったです」と言うと、すぐ

に「事前に言っていただけければ」と対応していらっしゃいました。町民の声をいかす姿勢は素晴らしいと思います。後は、私達町民一人ひとりの小さな努力が、よりよい街づくりにつながると思っています。

広報委員会からお知らせ

新年度から、議会広報の中心をさらに充実させるため、新企画のページを増やしました。

議会での活動をよりわかりやすく正確に伝えることが最重要課題と考えています。これからも委員全員で、頑張っていきます。

「議案に対する各議員の賛否表」や、以前から話題になっていた案件についてその後を追跡する「あれは、どうなったか」の掲載項目。



町民の声の原稿をお寄せ下さい

町政や議会、本誌に対するご意見・ご要望などをどしどしお寄せ下さい。

(500字程度)

【宛先】  
松前町筒井631  
議会広報編集特別委員会  
「町民の声」  
Fax 985-4148  
E-mail :  
500gikai@town.masaki.ehime.jp

傍聴のご案内

住所・氏名・年齢を届けるだけで、どなたでも自由にできます。

松前町議会は、本会議と各常任委員会の傍聴席を設け一般公開しています。

多くのみなさんの傍聴を庁舎5階でお待ちしております。 (次回は6月上旬中旬の予定です)

